

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025

4,592点の応募から選ばれた約250作品を発表
アカデミー賞につながるオフィシャルコンペ作品は！？

【本日4/24（木）から映画祭特設サイト&オンラインランドシアターがオープン！チケット販売開始】

特別上映作品にはケイト・ブランシェットプロデュース作品や
ポール・メスカル（「グラディエーターII 英雄を呼ぶ声」）主演作品も注目は新設のホラー&サスペンスカテゴリー、
今年ならではのK-SHORT、サウジアラビア作品の特集米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）
2025各部門ノミネート作品および特別上映作品を本日、映画祭オフィシャルサイトにて発表いたしましたのでお知らせいたします。<https://www.shortshorts.org/2025>

オンラインランドシアターでの先行配信プログラムや各種チケット販売も本日スタートです！

今年新たにまちびらきましたばかりのTAKANAWA GATEWAY CITYで5月28日（水）に開催される映画祭オープニングセレモニーには、
日韓国交60周年記念で行う特別イベントから、韓流スターのオ・マンソクさん（『愛の不時着』）、審査員の岩井俊二監督も登場します。

「creative active generative」のテーマのもと、来年のアカデミー賞への可能性を秘めたライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門のコンペティションに加え、「Cinematic Tokyo」や「Women in Cinema」、「SHIBUYA DIVERSITY」など多様なキュレーションで世界の最新ショートフィルム250点余りを選びすぐってお届けします。

◆特別上映作品にはケイト・ブランシェットさんプロデュース『マリオン』やポール・メスカルさん主演『流されて』、「イカゲーム」監督の『ミラクルマイル』など日本初公開作品が続々登場

ケイト・ブランシェットがエグゼクティブプロデューサーを務める女性ブル・ジャンパーの物語『マリオン』や、「アフターサン」や「グラディエーターII 英雄を呼ぶ声」で注目を集めるポール・メスカル主演『流されて』（Drifting）』、キリアン・マーフィー（「オープンハイマー」）主演『すべてが架空のような時代に（All of This Unreal Time）』、「イカゲーム」のファン・ドンヒョク監督による『ミラクルマイル』など特別招待作品に加え、オフィシャルコンペティションやプログラム上映では、斉藤由貴さん主演の縦型ショート『立て髪貴婦人』、アオイヤマダさんと松田ゆう姫さん主演『NIGEMIZU』、芋生悠さん監督デビュー作『解放』といった注目のノミネート作品も見逃せません。

◆新設！「ホラー&サスペンス」、人気沸騰「K-SHORT」、外交樹立70周年「サウジ ヴィジョンズ」、戦後80年「戦争と生きるカプログラム」など、今年だからこそその充実プログラム

今年新しくスタートした「ホラー & サスペンス」カテゴリーでは、11点の日本人監督によるショートフィルムを特集。「最震賞supported by CRG」が選ばれます。また白韓流ファンのみならず、映画ファンにも人気の韓国ショートフィルムを特集する「K-SHORT」には国民の夫ユ・ジュンサンさんが自身の監督作品と共に登場。外交樹立の記念イヤーならではのサウジアラビア作品の特集や戦後80年を考えるきっかけとなる「戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字」も今年ならではのラインナップを展開します。

◆本日スタート！オンラインランドシアターではAIプログラム、レインボープログラムなど6プログラムおよびユ・ジュンサンさんによるオンライン限定作品を先行配信

応募作品の潮流を体現する、AIを使用して制作された作品の特集、レインボープログラム、恒例となった5分以下で楽しめるVery Shortプログラム、25歳以下の新進気鋭の日本人監督作品を選出するU-25プロジェクトなどを先行配信（各プログラム5月27日（火）まで）。その後、特別上映作品は5月28日（水）から、6月12日（木）からはオフィシャルコンペティションプログラムの配信がスタートします。

一部の賞は5月28日（水）のオープニングセレモニーで発表、インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパン、アニメーション、ノンフィクションのカテゴリーからなるオフィシャルコンペティション優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）は6月11日（水）のアワードセレモニーで発表いたします。

インターナショナルプログラム特別上映作品



ライブアクション部門ジャパンカテゴリーには21作品がノミネート！



本日4月24日(木) オンライングランドシアターで先行配信スタート!
AI、レインボー、Very Short、U-25、Women in Cinema、BRANDED SHORTS 歴代受賞など

※6プログラムの配信は5月27日(火)まで 5月28日(水)より別途プログラムの配信が行われます。

<https://app.lifelogbox.com/shortshortsonlinegrandtheater>

東京

オンライン



『トランスフォーメーション』(Transformation)
監督: Marcel Barsotti / ドイツ / 12:39 / SF / 2024

アニメーションから
ドキュメンタリーまで
AIを活用した映画の
可能性を探求



『父さんに電話して』(Call Dad)
監督: Max Fernandez / フィンランド / 5:36 / ノンフィクション / 2024

5分以下の
超ショート



『ジェンダー・リビール』(Gender Reveal)
監督: Mo Matton / カナダ / 12:32 / コメディ / 2024

セクシャリティや
ジェンダー
アイデンティティだけで
なくキャラクター個人の
魅力にフォーカス



『熱砂』(Fervent)
監督: 李枝滋 / 日本 / 1:10 / アニメーション / 2024

25歳以下の
国内監督が対象
5分以下の
作品を公募。
中学生の監督も
ノミネート

東京都 × ShortShorts PROJECT

SSFF & ASIAは、東京都と連携し、「国内外の人々が東京を訪れたいくなる」企画: 多彩な「東京」の魅力を発信するプロジェクトとして、東京をテーマにしたショートフィルムを世界から公募する「Cinematic Tokyo部門」を2016年に設立。

今年も様々な「東京」が表現された5作品をCinematic Tokyo部門として上映、配信し、優秀賞(東京都知事賞)を発表します。

また、日本のクリエイター支援を目的に、「沈黙の艦隊」の脚本を手掛けた高井光さんを迎え、脚本術をテーマにクリエイターセミナーを開催します。

Tokyo Tokyo Old meets New

Cinematic Tokyo部門上映作品(ピックアップ)

※5/28-6/11 オンライン、6/10 17:20-19:10 @WITH HARAJUKU



Cinematic Tokyo部門ノミネート作品

『借りた』(Karita)
監督: Virginia de Witt & Koji Ueda / 日本 / コメディ / 2023 / 17:18

東京

オンライン

※以下、東京=東京会場、
オンライン=オンライングランドシアター

善人であるべきか、悪に染まるべきか。東京にいるアメリカ人の彼女は、友人と恋心の間で揺れていた。

クリエイターセミナー「沈黙の艦隊」シリーズから学ぶハリウッド式 脚本術

- 日時: 6月9日(月) 19:30~21:20
- 会場: WITH HARAJUKU (東京都渋谷区神宮前一丁目14-30)

<講師> 脚本家 高井 光 氏

<内容> 「沈黙の艦隊」シリーズの脚本家として活躍する高井光 氏。ハリウッド式のビートシートを改良したオリジナルの分析法の 専門家として、興行映画の分析依頼や、企業内講習も数多く実施されています。SSFF & ASIAが展開する「ブックショート」(短編小説コンテンツ)においても、昨年からの小説に加えて脚本にもジャンルを広げ、より多くの「物語」を募集する中、昔話のような原作などを、どのように二次創作として落とし込んでいくかのようなプロット(物語の筋や構想)、そして構成にすれば、より面白い「物語」に仕上がるか、高井光さんに解説頂きます。

特に映像事業に関わる映像作家、プロデューサー、脚本家志望の方々は必見!

■チケット予約: 無料ですがご予約下さい。

URL <https://ssff2025harajuku17.peatix.com>



高井 光 脚本家・物語分析家。CREDEUSライターズルームのチーフを務める。ハリウッド式のストーリーテリングを学び、これまでに500本以上の映画を分析。代表作に、Amazon Originalドラマ「沈黙の艦隊」シリーズなど

TAKANAWA GATEWAY CITYで開催！ オープニングセレモニと特別イベントの数々

今年新たにまちびらきしたばかりのTAKANAWA GATEWAY CITYでは、豪華ゲストがレッドカーペットを歩き、今年の映画祭のラインナップを紹介するオープニングセレモニーに続き、日韓国交正常化60周年記念 JAPAN-KOREA Friendly Concert、J-WAVE SOUND OF CINEMA AWARD特別上映イベント、K-SHORT特別上映イベントなどなど映画祭ならではの盛りだくさんのイベントを開催します。
※各ゲストは変更になる可能性もございます。

① <レッドカーペット&オープニングセレモニー> ※時間は変更となる可能性がございます。

5月28日(水) レッドカーペット 14:30開場 15:00開演 15:45終了予定

@TAKANAWA GATEWAY CITY Gateway Park

セレモニー

15:15開場(予定) 16:30開演 18:30終了予定

@TAKANAWA GATEWAY CITY THE LINK PILLAR 1 SOUTH 地下2階
LINK PILLAR Hall A・B



【チケット】

レッドカーペット+セレモニーセット券：7,000円

セレモニー券：5,000円

※前売りのみ

② <オープニングイベント>

5月31日(土) 13:00~、17:00~

SSFF & ASIA 2025の幕開けを記念した特別イベント

「JAPAN-KOREA Friendly Concert」。

韓国より、ドラマ『愛の不時着』のオ・マンソクさん、ミュージカル『フランケンシュタイン』のオリジナルキャスト、ユ・ジュンサンさん、朝夏まなとさん、加藤和樹さん、そしてSSFF & ASIAの代表別所哲也という豪華出演陣によるライブコンサート

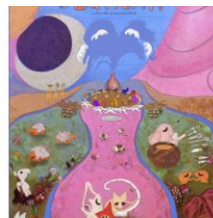
【チケット】全席一律：13,000円(前売・当日共)

③ <J-WAVE SOUND OF CINEMA AWARD特別上映イベント>

6月1日(日) 10:30~12:00

音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たしているショートフィルムの中からリスナー審査員が選ぶSOUND OF CINEMA AWARDの、候補作品の上映と別所哲也によるトークイベントを開催。

【チケット】前売り券1,500円 当日券1,800円



④ <K-SHORT特別上映イベント>

国民の夫ユ・ジュンサンさん来場!

6月1日(日) 13:30~15:30

国民の夫と称され韓国、日本で人気を誇る俳優ユ・ジュンサンさん(「棚ぼたのあなた」)が自らメガフォンをとったモキュメンタリー(ドキュメンタリー風のフィクション)『平穩は静寂にない』や、世界40の映画祭で受賞の俳優のホラーショート『うちに来る?』、韓国のトロット(演歌歌謡)歌手として絶大な人気を誇るイム・ヨンウン主演のミュージックドラマ『10月の出来事』が登場。

さらに、映画祭オンライングランドシアターでは、ユ・ジュンサンのもう一つの監督作品『羽のように軽く』も日本初公開されます。



【チケット】

前売り券2,000円

当日券2,300円

各コンペティション、スペシャルプログラムから注目作品をご紹介します！

今年、映画祭に応募されたのは世界108の国と地域から応募された4,592点以上の作品。その土地ごとの家族の絆やジェネレーションギャップがテーマになった作品が多かった中、インターナショナルカテゴリーでは、終末論的またはディストピア的な、コロナ後の生活を描いた作品も引き続き多く、イスラエル、パレスチナの紛争を描く作品も目立ちました。ユニバーサルな思春期、Z世代のトランスユースの視点、認知症がモチーフとなるストーリーといった応募作品のトレンドも見えてきました。

アジアカテゴリー、特に中国作品では家族への忠誠心や子どもへの厳しさ、娘ではなく息子が優先されるなど、過去からの慣習を描くものが多かった一方で、アジア全体では過去に比較しコメディ作品も増えてきています。

5月29日～都内会場で上映 / 6月12日～オンライングランドシアターで上映

【インターナショナル カテゴリー 特別上映】

東京 オンライン



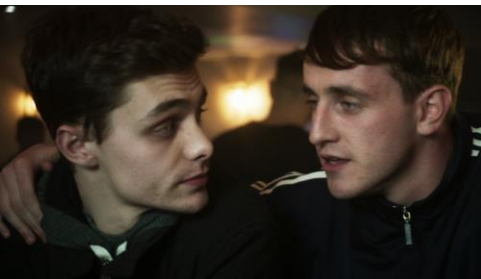
ケイト・ブランシェットがプロデュース
母親であり闘牛士である女性の物語

『マリオン』(MARION)

監督: Joe Weiland & Finn Constantine / フランス・イギリス / 13:17 / ドラマ / 2024

フランスで唯一の女性闘牛士であるマリオン。満員の競技場での出番の前に準備を進める。

「グラディエーターII 英雄を呼ぶ声」「アフター・サン」の
ポール・メスカル主演



『流されて』(Drifting)

監督: Robert Higgins & Patrick McGivney / アイルランド / 14:00 / ドラマ / 2020

キアンとパットは子供の頃からずっと一緒に、ミッドランド地方の小さな町で自由に過ごしている。キアンは酒と気軽な男女関係に身を任せる生活に満足しているが、パットはそんな自分の環境にうんざりし始めている。

【アジア インターナショナル カテゴリー 特別上映】

東京 オンライン



Jiyoung (Hana Kim) and James (Karl Hahn) share a quiet moment on the streets of Miracle Mile.

「イカゲーム」のファン・ドンヒョク監督作品
兄と妹の絆、移民の視点を描く

『ミラクルマイル』(Miracle Mile)

監督: Hwang Dong-hyuk / 韓国 / 18:00 / ドラマ / 2004

ジェームズはロサンゼルスで違法タクシー運転手をしている。ある日、空港で韓国からやってきた若い女性を乗せる。彼女は数年前に養子としてアメリカに送られた兄を探していた。家族のいないジェームズは、自分が彼女の兄であることを密かに願うようになる。

アジア最大の映画学校 北京電影学院のハイクオリティなショートフィルムを岩井俊二監督がセレクト

岩井俊二×北京電影学院ノミネート監督 トークイベント

5月30日(金) 17:50-19:40 @表参道ヒルズスペースオー

東京



アジア最高峰、北京電影学院の監督学科の学生監督賞に審査員として参加した際に、そのレベルの高さに衝撃を受けた岩井俊二監督のアイデアから実現した本イベント。ノミネート2作品の監督が来日し、作品上映と岩井監督とのトークイベントをお届けします。

(上映作品ピックアップ)

『Swimming at Night』

監督: Li Nanhui / 中国 / ドラマ / 2024 / 28:30

チュアンは継父のビョウの元から義理の弟を連れ去ろうとする。するとチュアンは悪名高い継父の、別の顔を知ることになる。



生駒里奈さんと、人気YouTuber都市ボーイズのはやせやすひろさんが登場

恐怖と悦楽の境界線！上映&トークイベント

5月30日(金) 20:00-21:50 @表参道ヒルズスペースオー

東京

ホラー&サスペンスの頂点を決める「最震賞 supported by CRG」最終ノミネート作品の上映と、特別ゲストによるトークイベント。はやせさん厳選の“怖過ぎて皆さんに迷惑をかけないような呪物”を持参してもらいます。



【大注目のジャパンプログラム】日本国内218の応募作品からのノミネートおよび特別上映作品を含む22点を上映
高校生の恋愛、いじめ、家族との関係や日本固有の祭りを描く作品が多く集まりました。

東京

オンライン

【ジャパンカテゴリーノミネート作品（ピックアップ）】



アオイヤマダ&松田ゆう姫主演

『NIGEMIZU』

監督：磯部昭子/12:37/日本/ドラマ/2024

眺めのいい海沿いの家でアオイの殺害計画を立てる、謎の女ゆう姫。不穏な計画はゆう姫の妄想の中で順調に進むが、予定よりも早く到着したアオイは、その奔放な行動で計画を狂わせていく。

斉藤由貴主演の縦型ショートフィルム

『立て髪貴婦人』(High Hair Lady)

監督：宮田和弥/10:00/日本/ドラマ/2024

縦に長くそびえるヘンテコな髪型をした「立て髪貴婦人」は、空き地に奇妙な小屋をつかって住んでいる女性。ある日、彼女のところに1人の少年カンジが迷い込む。ところが小屋の中には行方不明になっていた同級生の双葉がいて…。



【ジャパンカテゴリー特別上映作品】



第4回HOPPY HAPPY AWARD 受賞監督による特別製作作品

『宇宙飛行士からの手紙』(Letter from Astronauts)

監督：倉田健次/24:00/日本/ドラマ/2025

ホッピー発売から77年。ホッピー配達人のオサダさんも77歳。彼の楽しみは仕事終わりに大好きなお店でホッピーを飲む事。ある日、オサダさんは店主達に引退を告げると共に懇願する。「人生を振り返ってみたら僕には何もありませんでした。だから僕に、人生の楽しみ方を教えて下さい」始まるオサダさんの人生レッスン！店主達は感謝祭を計画するも、現れないオサダさん。待の間、店主達はオサダさんの逸話を語り合っていく…。



岩井俊二監督 × アイナ・ジ・エンド主演のショートフィルムを スクリーンで初上映！

『夏至物語【完全版】』(A Midsummer Story)

監督：岩井俊二/34:19/日本/ドラマ/2023

トオルと過ごす初めての夏。ユウコは蒸し暑い部屋の中でトオルのことだけを考えていた。双眼鏡でトオルの部屋を覗きながら…。

©カンテレ

第5回 TYO学生ムービーアワード金賞・銀賞受賞「ひみつ」をテーマにした60秒の作品

次世代の才能の発掘と育成などを目的として開催された「TYO学生ムービーアワード」は、テレビCM・オンライン動画などを中心とした多様なコンテンツ制作の実績ノウハウを持ち、CM、映画などの映像ディレクターを数多く生み出してきた株式会社TYOが主催している学生向けのショートフィルムコンテスト。



『多目的の住人』(Live-in the Gaps)

監督：奥村百絵/1:00/日本/コメディ/2025

美術館の清掃員は、トイレに宅配ピザが届けられる場面を目撃する。そこには人が住んでいるという。その日の帰り、さらに不思議な場所の住人たちに出会う。



『カイツ』(Monsters)

監督：阿部瑞樹/1:00/日本/ミュージックビデオ/2025

ある女は歌手として活躍していたが、秘密を盗撮され炎上し、自分を見失う。ある男は規則の中で生きることに苦しさを感じていたが、秘密を公表し、自分らしくいられるようになる。秘密という存在によって影響し合う人間模様を描いた作品。

【NEO JAPAN プログラム (ピックアップ)】

東京 オンライン

芋生悠さん初監督作品

『解放』 (Unleashed)

監督：芋生悠 / 日本 / 22:05 / ドラマ / 2024

空気の滞った部屋、画家の女性は締め切りに追われ黙々と作業を続けている。求められる画風、変わらない作業工程、いつしかなぜ絵を描くのか見出だせなくなっていた。女性は部屋を飛び出していく。そこで出会うのは…



【アニメーションプログラム 特別上映】

東京 オンライン

イギリスの名優イアン・マッケランが声の主演

『Dragfox』

監督：Lisa Ott / イギリス / 8:10 / アニメーション / 2024

サムが自分のアイデンティティを探していると、謎めいた近所のキツネが突然現れる。2人は屋根裏部屋へと向かう不思議な旅に乗り出し、思いがけない共通点を発見する。互いの違いを受け入れる大切さを学んでいく。



デジタルハリウッド主催 デジタルフロンティア
グランプリ2025 ベストアニメーション賞受賞

『Resonance』

監督：トーマス・クルー / 日本 / 10:43 / アニメーション / 2024

ピクセルアートが織りなすショートフィルムは、音楽とテクノロジー、自己表現の交差点！インスピを探しのアストロは謎ロボットに導かれ、リズムパズルと懐古ゲームの魅力へと旅立つ。



【ノンフィクションプログラム特別上映】

東京 オンライン

アカデミー賞ノミネートのハイクオリティ・ドキュメンタリー

『一年の測り方』 (How Do You Measure a Year?)

監督：Jay Rosenblatt / アメリカ / 28:43 / ドキュメンタリー / 2022

映画監督のジェイ・ローゼンブラットは17年間にわたり、娘のエラの誕生日にいつも同じ質問を投げかけ、その様子を撮影してきた。わずか29分間の映像には、幼い女の子が美しい女性に成長していく姿が映し出される。そして思春期のごちない時期をはさみ、父と娘は複雑な関係を築いていく。…



【ノンフィクションプログラム (ピックアップ)】

東京 オンライン

ルッキズムの背景を紐解くドキュメンタリー作品

『世界で一番細い私』 (Am I the skinniest person you've ever seen)

監督：Eisha Marjara / カナダ / 24:06 / ドキュメンタリー / 2024

二人は姉妹であり親友。一緒にダイエットをするのも楽しそうと思い…。…



【戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字 (ピックアップ)】

東京 オンライン

世界各地では今この時でも、戦争やさまざまな暴力が多くの人の
人生を狂わせ、愛する人や平和な日常を奪っている

『アムナの決断』 (walud)

監督：Daood Alabdulaa & Louise Zenker / ドイツ・シリア / 24:00 / ドラマ / 2025

2014年。アムナは過激派組織の戦闘員である夫のアジズとともに、シリアの片田舎の砂漠で羊飼いと暮らしている。過激派組織に傾倒した若いヨーロッパ人を夫が第二夫人に迎えたことで、アムナの日常に混乱が訪れる。



【Shibuya Diversityプログラム (ピックアップ)】

東京

オンライン



“ちがいをちからに変える街”渋谷発の映画祭が照らし出す世界のダイバーシティ
NFLの大人気ドキュメンタリーシリーズでエミー賞受賞監督による作品も！

『いきがい』(Ikigai)

監督：Trent Cooper/ アメリカ/20:12/
ノンフィクション/2023

ついこの電話がかかってきた。大学を卒業してから2年間、アルルワン・アディヤミは体型維持に努めてきた。夢を諦めなかった彼に、ついにNFLのチームが連絡を取ってきたのだ。しかし、彼の返事は予想外のものだった。

オンライン

ジェンダー平等に取り組むフィルムメーカーたちの力作
子宮の穴の視点で中絶の権利を問うユニークな作品も！

『ナインデイズ・イン・オーガスト』(Nine Days in August)

監督：Ella Knorz /ドイツ/17:04/ドラマ/2024

表面的には、リアは元気そうに見える。学校を卒業し、友達に会い、パーティーに繰り出す。父親にはリアを心配する理由など何もなかった。

オンライン

日本・サウジアラビア 外交関係樹立 70周年
サウジ映画祭協力 6 作品を上映

『宴：ドウニアの1日』(Dunya's Day)

監督：Raed Alsemari/サウジアラビア/14:00/ドラマ/2019

サウジアラビアの Riyadh 郊外の裕福な街を舞台に、卒業パーティー当日のドウニヤを描く。彼女の尊敬する招待客が到着する数時間前、"マダム風"ドウニヤの傍若無人な振る舞いにうんざりした家事手伝いたちは、皆逃げ出してしまう。二人の仲間に助けられながら、ドウニヤは完璧なパーティを開き、苦勞して手に入れた社会的地位を守ることができるのか？

【Women in Cinema Project (ピックアップ)】



【サウジ ヴィジョンズプログラム (ピックアップ)】



الذكرى السبعون للعلاقات الدبلوماسية بين المملكة العربية السعودية واليابان
日本・サウジアラビア外交関係樹立70周年
70th Anniversary of Saudi Arabia-Japan Diplomatic Relations



BRANDED SHORTS 10周年企業が制作したブランディングを目的とした
ショートフィルム (ブランデッドムービー) の10年、現在地、そしてこれからの展望

東京

オンライン

2016年の設立から今年10周年を迎えるBRANDED SHORTS 2025。10周年を記念する企画が盛りだくさん。世界中から集まったノミネート作品をご紹介します他、4月24日から10周年の歴史を紐解く特別企画として、過去の歴代受賞作品の一部をオンライングランドシアターで配信いたします。

10周年特別サイトはBRANDED SHORTS公式noteをチェック <https://note.com/brandedshorts>

ガイ・リッチー監督作品がノミネート

【BRANDED SHORTS (ピックアップ)】



『Touching Hands』

監督：ガイ・リッチー/UK / 3:53 / 2024

ボクシング ヘビー級チャンピオンマッチ：アンソニー・ジョシュア vs ダニエル・デュボア この一戦のために、名匠ガイ・リッチーが手がけたブランデッドムービー。

- 6月3日 (火) にはセミナーイベントを、6月4日 (水) にはBRANDED SHORTSの各賞を発表・授与するセレモニーイベントを赤坂インターシティコンファレンスで開催
- オンライングランドシアターでは4月24日 (木) ~ 5月27日 (火) に10年間の歴代受賞作品を配信

リアルとバーチャルが耳元で融合する革新的映画体験！

音響XR体験シアター supported by NTT

6月6日(金) 19:00～, 20:20～ @LIFORK HARAJUKU

東京

映画の音声を「セリフ」と「効果音」に分け、観客の皆様へ新しい映画音声体験を提供するSSFF & ASIA 初の上映会を開催します。

NTTグループ初の音響ブランド「nwm(ヌーム)」の耳スピ、NTT ExCパートナーの「音響XR技術」により実現しており、スピーカーから響くセリフや音楽といった「リアルな音」を重ねて、耳元からは作品ごとにチューニングされた「バーチャルな音」が聞こえてきます。

周囲を包み込む環境音、後ろから迫る足音、感情に寄り添う繊細な効果音——。リアル音とバーチャル音が融合した立体的な音場がスクリーンとリンクすることで映画音響を次のステージへと進化させます。これまでにない“没入感”と“臨場感”をお楽しみください。

<https://www.shortshorts.org/2025/special/acoustic-xr-experience-theater/>



会場にお越しいただいた皆様には鑑賞に使用するnwm WIRED(3.5mm)を各回先着50名様にプレゼント！

子どもとクリエイターになる場所 ファミリー・クリエイティブ・フェス

6月7日(土)・8日(日) 10:00～17:00 @LIFORK HARAJUKU

東京

映画を観るだけじゃない。感じたことやアイデアを形にして、伝える楽しさを体験しよう！

SSFF & ASIA 2025 キッズプログラムのショートフィルム上映と、ショートフィルムをきっかけに、子どもたちがクリエイティブな発想を活かして実際にアウトプットをするシナリオ教室や映画のチラシをみんなで作るワークショップなど、アイデアを「つくる」「伝える」にこだわったイベントを開催します。

【キッズプログラム(ピックアップ)】

東京

オンライン

さかなクンの絵本を原作に制作されたアニメーションほか
親子で観たい世界各国のショートフィルム



写真提供：ツインクル・プラン

映画を、すべての人のものに。バリアフリーな映画体験を多くの人に広めたい
SSFF & ASIA 2025「ユニバーサル上映会」開催
バリアフリーガイド付き作品を増やすクラウドファンディングも開始！

今年も、「ユニバーサル上映会」を開催します。視覚聴覚障がい者向け音声ガイド+聴覚障がい者向け日本語字幕ガイドを付けた作品を上映し、上映後にはバリアフリー対応(手話通訳及び要約筆記)にてトークイベントを実施予定です。イベント会場には車椅子席スペースもご用意します。また、バリアフリーガイド付き作品をさらに増やし、誰もが当たり前映画を楽しめる社会を目指してクラウドファンディングの実施が決定。

ガイド付き作品に支援者の名前の掲載や、映画祭のグッズプレゼント、各イベントへの招待といったリターンが用意されています。4/24より開始します。

<https://camp-fire.jp/projects/view/836208>

米国アカデミー賞公認
アジア最大級の国際短編映画祭
SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

映画を、すべての人のものに
バリアフリーな映画体験を
多くの人に広めたい



視覚障がい者向け
音声ガイド



障がい者向け
字幕ガイド

を付けた
ショートフィルム
を増やす
プロジェクト

クリエイターのためのプラットフォームLIFE LOG BOXでは 動画コンテストやオンラインシネママーケットを開催

<SSFF & ASIA 2025 Promotional Movie Contest>

テーマ「creative active generative」をイメージした映画祭プロモーション動画を募集します。

映画祭公式映像管理運用プラットフォームLIFE LOG BOX内で、本コンテストへの投票権を一般配布し、クリエイターやオーディエンスからの投票を受け付けます。最も得票数の多く、映画祭実行委員会の審査を勝ち抜いた動画が、5月末～6月に行われるSSFF & ASIA 2025のセレモニーなどで上映される予定です。

[応募期間] 2025年3月25日 (火) 14:00- 5月14日 (水)

[投票期間] 2025年5月21日 (水) 14:00- 6月3日 (火)

<https://lifelogbox.com/ja/ssff-asia-2025-movie-contest/>



<オンラインシネママーケット>

ショートフィルムを中心に映像コンテンツの登録・管理・共有を行えるオンラインプラットフォーム「LIFE LOG BOX」にて、年間を通じたオンライン上のマーケット

「SHORTSHORTS ONLINE CINEMA MARKET」を2025年4月24日

(木) より開始いたします。このマーケットでは、世界中のショートフィルムのバイヤー、テレビチャンネル、配信会社などがアクセス可能となり、映像作品にリアルなビジネスチャンスが開かれます。

<https://market.shortshorts.org/>



クリエイターミートアッププロジェクト： クリエイターと企業が出会い、新たなビジネスチャンスを掴む機会を創出！

映画祭に来場するショートフィルムファンや、監督、映像文化をサポートする企業が交流し、情報交換し、新たな企画の種を紡ぐラウンジスペースが、TAKANAWA GATEWAY CITY、赤坂インターシティコンファレンスに登場！最新のAIを含むデジタル映像の展示やブランデッドドキュメンタリー制作チーム、自身の映画企画などがブース出展をします。

今後も追加になるブースをウェブサイト内で掲載してまいります。



【部門・アワードの構成】

【公募部門】

●アカデミー賞公認5部門

オフィシャルコンペティションは**ライブアクション部門**（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）および**ノンフィクション部門**、**アニメーション部門**からなり、各部門優秀賞が翌年のアカデミー賞短編実写部門への推薦されます。

●**Cinematic Tokyo 部門** 2016年設立。様々な「東京」の魅力を発信するショートフィルムを上映。

●**BRANDED SHORTS部門** 国内外の企業・団体のブランディングムービーを特集。

●**U-25プロジェクト** 2019年に設立。将来有望な映像作家の国内外での活躍を応援すべく、国内の25歳までの監督が制作した作品を対象に、5分以下のショートフィルムを公募。

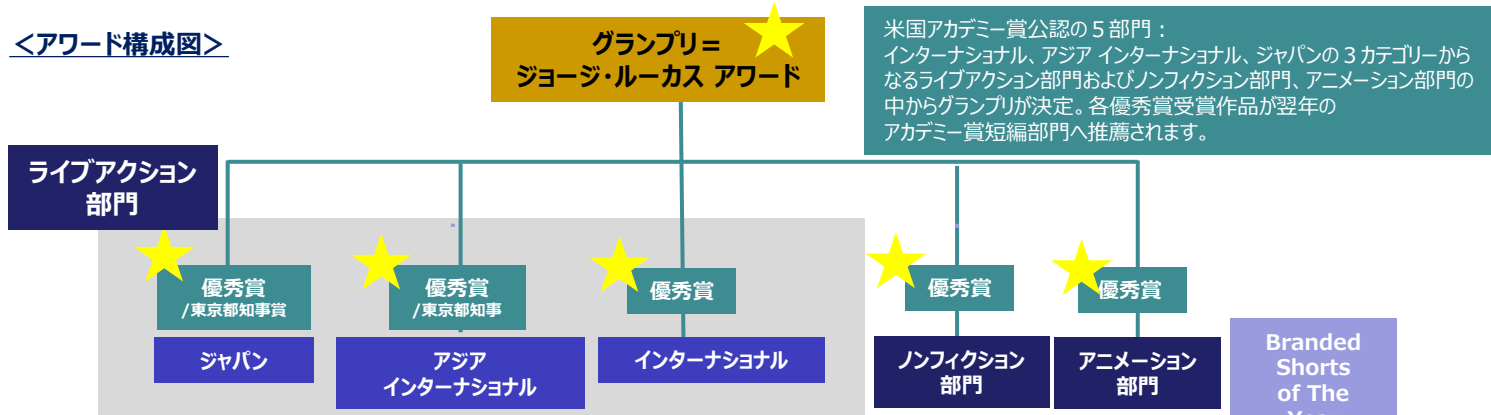
このほか、**講談社シネマクリエイターズラボ**ではショートフィルムの企画を世界公募、**BOOK SHORTSプロジェクト**では短編小説を国内公募。SSFF & ASIA 2025で各優秀賞を発表します。

6月11日（水）にアワードセレモニーが開催され、ライブアクション部門（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）、アニメーション部門、ノンフィクション部門の各優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）が発表されます。また、本映画祭の開催に先駆けて、5月28日（水）には、オープニングセレモニーでも一部の賞を発表いたします。

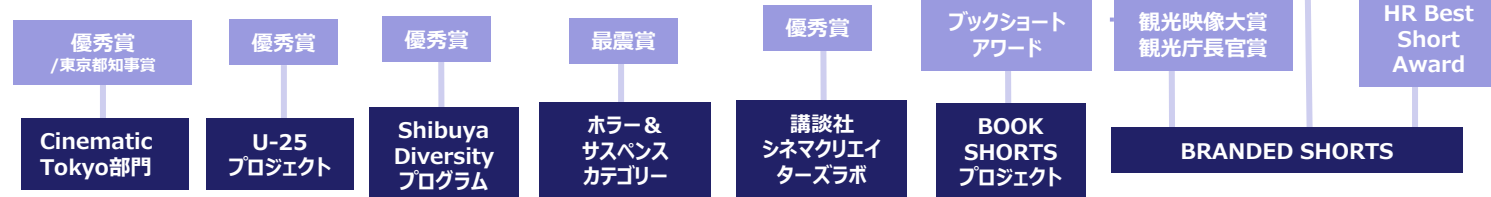
*各セレモニーの概要につきましては別途、取材案内状をお送りさせていただきます。



<アワード構成図>



<そのほかのコンペティション（部門）・公募プログラム>



※コンペティション（部門）以外に、各テーマを表現した最も優秀な作品に下記アワードが贈られます。

- **地球を救え！環境大臣賞**……地球環境に関するテーマを描くすぐれた作品に授与
- **J-WAVE SOUND OF CINEMAアワード**:音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たしている作品に授与
- **HOPPY HAPPY AWARD**……「Be HAPPY with HOPPY」を掲げるホッピーの思いを体現するショートフィルムに授与
- **オーディエンスアワード**……コンペティション作品の中から、各部門ごとに来場者および視聴者の投票で選ばれる観客賞
- **ベストアクターアワード**……オフィシャルコンペティション作品の中から、優秀な俳優に贈られる賞
- **グローバルスポットライトアワード**……世界の今を発信し新たな可能性を一映画人として切り開き、世界とつながる作品に授与
- **Most Viewed Award**……映画祭オンライングランドシアターで最も視聴された作品に対して贈られる賞

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2025 概要】

■映画祭代表：別所 哲也

■開催期間：

4月24日（木）～6月30日（月）オンライングランドシアター

※期間により配信プログラムが異なります。

5月28日（水）オープニングセレモニー TAKANAWA GATEWAY CITY

5月29日（木）～6月1日（日）TAKANAWA GATEWAY CITY

6月3日（火）、4日（水）赤坂インターシティ コンファレンス

6月6日（金）～10日（火）WITH HARAJUKU

6月6日（金）～8日（日）LIFORK HARAJUKU

6月11日（水）アワードセレモニー LINE CUBE SHIBUYA

■チケット：

＜オンライングランドシアター＞

オンライン グランド シアター鑑賞パスポート 2,500円（日本国内）/
15米ドル（日本国外）

<https://app.lifelogbox.com/shortshortsonlinegrandtheater>

＜東京会場＞

・プログラム券（前売り）一般 1,500円、学生、シニア、障がい者割引1,200円
未就学児（小学生未満） 無料

・プログラム券（当日券）一般 1,800円、学生、シニア、障がい者割引1,500円
未就学児（小学生未満） 無料

・パスポート

購入ページ URL <https://ssff2025passport.peatix.com>

※ 表参道ヒルズ スペースオー、WITH HARAJUKU HALL 対象

一般 7,000円

学生、障がい者割引 5,500円

■一般からのお問い合わせ先：info@shortshorts.org

■公式サイト：<https://www.shortshorts.org/2025>

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

※各イベントゲストは変更になる可能性があります。



【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年に

アメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を

「ショートショートフィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に

認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を

目的とし、同年に「ショートショートフィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：野上・武田 TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail
press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

https://drive.google.com/drive/folders/16ymtXQ19DUnmK4ZPeIz3yCWtj_Sr_1F-?usp=sharing